

令和6年 年回忌法要一覧表

年回法要	ご逝去年
1周忌	令和5年/2023年
3回忌	令和4年/2022年
7回忌	平成30年/2018年
13回忌	平成24年/2012年
17回忌	平成20年/2008年
23回忌	平成14年/2002年
27回忌	平成10年/1998年
33回忌	平成4年/1992年

左記の一覧表は2024年、令和6年の年回忌表です。該当する方はご連絡下さい。法要の相談を受け付けております。表には三十三回忌まで掲載しておりますが、これより後の年回忌(昭和六三年・三十七回忌、昭和五十年・五十回忌)も承ります。

浄行寺の今後のスケジュール

- 11月12日(火) おみがき会 10時
- 11月17日(日) 報恩講 13時半 勤行・落語会 16時 開演
- 12月16日(月) 東京八組間法会/即法寺 14時
- 1月1日(水・祝) 修正会 11時
- 1月5日(日) 西多摩霊園 墓参り 9時
- 1月11日(土) 初同朋会と新年会 11時
- 2月17日(月) 東京八組間法会 願泉寺 14時
- 3月20日(木・祝) お彼岸法要 14時
- 3/17(月)~ お彼岸自宅参勤

浄行寺で遊べる!! Jキッズ

10/26・12/28・1/18・2/15  
全て土曜日 13時から開催



浄行寺同朋会 ぜひご参加ください。

10/27(日)13時から 11月休み 12/15(日)13時から  
1/11(日)新年会併せて 11時から 2/9(土)13時から

真宗大谷派 慈光山

浄行寺

住職 五島 満

〒158-0084 東京都世田谷区東玉川2-30-3

電話 03-3720-6737 FAX 03-3726-3368

◆メール/ホームページ◆  
jikou6737@gmail.com  
https://jogyouji.com

編集後記 副住職 釋大智  
先日、息子と二人で過ごす久々の休日、自宅から車で十分ほどの距離にある九品仏に行き、息子のお散歩コースに浄真寺という浄土宗のお寺さんを選びました。実は昔、この浄真寺の敷地内に九品仏幼稚園という仏教の幼稚園があったのですが、私はそこに通っていた園児でした。その幼稚園は私が卒園してすぐに廃園してしまい、今は駐車場として多くの参拝者を迎えていました。後にウェブサイトにはこんなことが書いてありました。「寺全域は「極楽浄土」の様に型取られ...」という文がありました。私の憶測ですが、浄真寺はそのように目指した姿があつて、一切衆生を利益する阿弥陀様の教えを、人々に知ってもらいたいと伝えてきたかったのだと思うのです。私がまだ子供の頃の記憶が残っていた浄真寺は広がりましたが、大人になり、こじんまりとしたそんな印象に見えました。最後に息子と九品の参堂に手を合わせ、その場を後にしました。私自身が小さかった頃に過ごした場所を、息子と歩いていることがまた感慨深かったです。

銀の鈴幼稚園 たより



★若いご家族と接することが仕事の幼稚園には、いまやSNSは欠かせません。銀の鈴幼稚園では保護者の方のバックアップと実際の製作を得て、インスタグラムを利用しています。気付いたのは、同年代感覚、先輩ママ感覚の発信が大事で、それが見る人に響くんですね。★幼稚園の園児募集が始まり、駅ポスター掲示も行っています。田園調布、奥沢、自由が丘、尾山台の各駅に貼りました。この場所がいいな...と思っていた掲示板には、自由が丘女神まつりが占拠。お知り合いの新入園児ぜひご紹介下さい。

坊守としよの Tea time 第132回

大型台風10号が近づいていた8月25日(日)栃木県日光の男体山(なごたいさん)日帰り登山ツアーに行きました。この日は天気は恵みあり、34度(37度)の登山で体力的・精神的不安...東京駅 早朝6:20発の東北新幹線やまびこに乗り、7:13宇都宮駅で下車。バス11時開演。二荒山(ふたらのさん)神社中宮に到着。目の前には美しい中禅寺湖!! 山全体が、二荒山神社のご神体で受けとめられたお祭りとお目にかける鳥居をくぐり、いざ出発。すぐ急坂の連続で前日の雨でぬかるみずべりずべり、四合目から本格的な登山。11合目の麓尾神社をすぎ、九合目からかき場歩き。今回の案内人は、あまり休憩をとらないのでつらい。ちと山頂の男体山(2486m)に到着。なんとか雨はのちかまてが、ガスで何が見えません。下山して温泉で汗を流し、宇都宮指一と生ビールがおいしかった!!



ゆうりん

つづれの所をいめ、いかなるわをきつてか、  
「おしも」の身をよとして、玉ゆらも心を慰むべきか

(一休とて、このようにしたり、しばらくでもこの身の置き場を得て、つかの間でも心を休ませることが出来るのだろうか... 住職私訊)

鴨 長明 『方丈記』

Shinran 500th



こちらのQRコードを読み取り頂ければ浄行寺のアカウントから友達追加出来ます。

平安時代の末期、親鸞も父母と死別し、親族と別れて出家をしたのが九歳。そして生まれてから八歳までは、戦乱と飢饉と天災の世に生きておられたと伝わっています。源平の権力争いによる戦乱が京都の町中で繰り広げられ、東大寺の大仏様にも火がはなれた...と記録にあるほどです。また鴨長明(かものちやうめい)の『方丈記 ほうじょうき』には、京都の大火事、大風、その上にかぶせるように養和の大飢饉、元暦の大地震による命の惨状が記されています。天災、食糧不足、飢餓、地震...親鸞の幼児期、少年期に一気に、連続して身の上起こっていた時代だったのです。八歳といえば、今でいう小学校三年生。その凄まじい環境は、幼児から少年期の親鸞の心にどう影響したのでしょうか。不安と苦しさで理不尽さは、無意識にも少年期の親鸞の心に染みわたったに違いありません。それは、まるで過去の歴史を繰り返すような、現在の私達の不安とも重なります。その思いは、時を大きく隔てた、現代の今、パレスチナや能登の人達の表情にも重なって見えます。そして、そういう私達が求めるものは、冒頭の言葉のように「居場所」と「安息」、生きる希望と力なのではないでしょうか。平安期の「国を護るための仏教」は、この人々の悲嘆の前には意味を失い、法然の開かれた、すべての者を摂取不捨する、阿弥陀仏の本願への道が人々の心に光りました。この法然の教えに親鸞も吸い込まれるように、自らの救いを求めたことでしょう。報われない、不条理な人生に、阿弥陀仏の本願は光のように降り、影のように消え、苦悩と不安の人々とともにあったのではないのでしょうか。その救いと真実は、今も変わることはありません。阿弥陀仏の本願に出会い、それに共感していく人達との縁をつくるのが、お寺の仕事ではないのでしょうか。

南無阿弥陀仏 釋 浄満

浄行寺 公式LINE 開設しました!

~お寺をもっと身近に~

いよいよ郵送料値上がりはじまった...

「よし! 公式LINEをはじめよう!」

- ◆ご家族皆様へ。これからも春夏秋冬号、年4回で「ゆうりん」紙面を郵送でお届けします。
- ◆LINEご登録頂いた方には、LINEを通じて「ゆうりん」を浄行寺ホームページからスマートフォン、PCでご覧頂けます。
- ◆〈お願い!〉LINE登録、友達追加を済ませたあと、一言お名前付きのメッセージを送ってください。
- ◆主にお寺の行事のご案内と、ご法事ご依頼のやりとり、「ゆうりん」最新号のお知らせご送付をします。
- ◆お電話での対応もしています。お気軽にご連絡ください。

皆様 是非ご登録をお願いします!